

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立湖北中学校

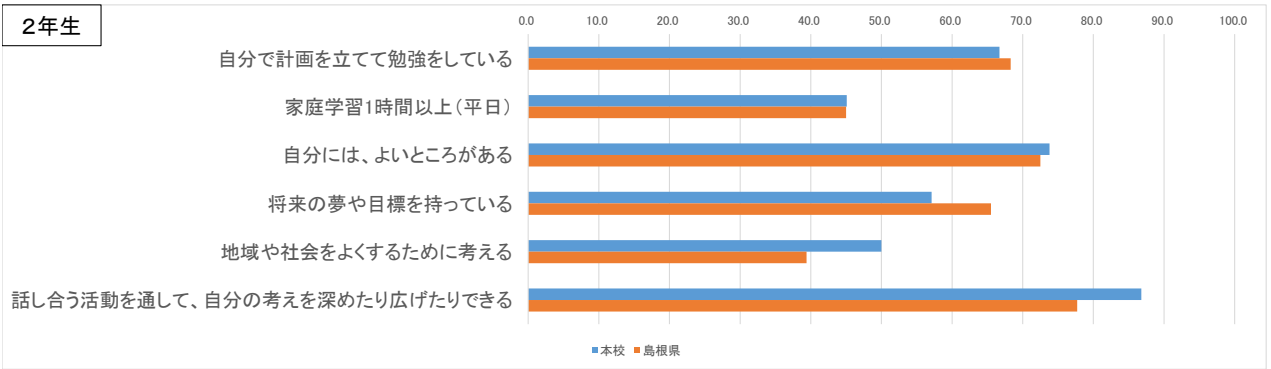
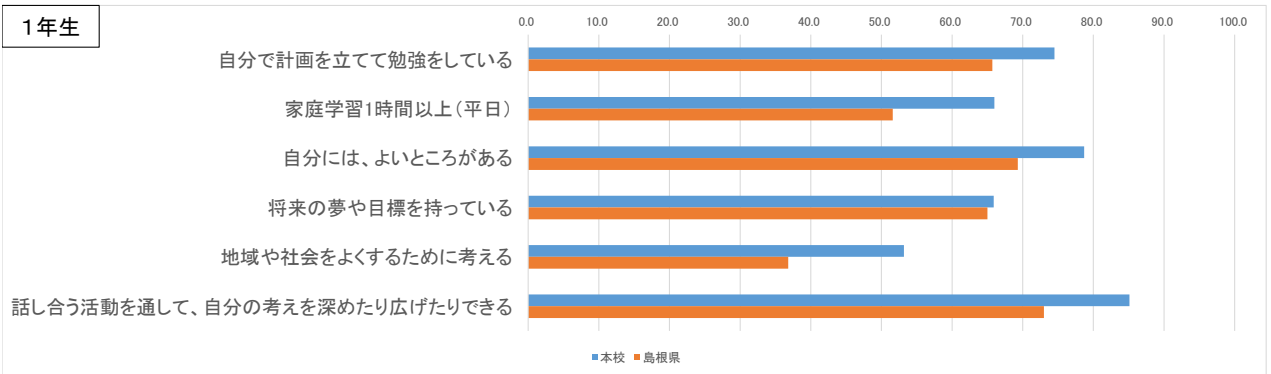
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○レポートを書く課題では、読み手の立場に立って、文章を整えることができていた。 ●単語について理解し、問いに答えることに課題があった。	○第2学年までに学習した漢字を正しく読むことができていた。 ○文の成分や行書の書き方、歴史的仮名遣いの読みなどの言語にかかわる問いに対し正しく答えることができた。 ●自分の考えを明確にして、書くことに課題がある。
数学	○1次方程式や比例式を解くことについては定着している。 ○例年1年生の課題であった関数領域の定着について改善傾向にある。 ●正負の数や文字式の計算に課題がある。 ●1学期の学習内容について定着度が低い傾向にある。	○図形領域の証明に関する知識が定着している。 ○調査時期の近くで扱う内容については比較的定着度が高い。 ●文字式の計算や連立方程式を解くことなど、文字式の扱いに課題がある。 ●1学期の学習内容について定着度が低い傾向にある。
英語	○短い英文を聞き取ることができる。 ○短い英文の情報を読み取り、その内容を把握することができる。 ●対話文の聞き取りに課題がある。 ●場面に応じて英作文を書く力が低い。	○英作文の無回答率が低く、正答率が比較的高い。 ●並び替え問題の正答率が低く、基本的な語順が定着していない。 ●英文の読み取りでは、概要や要点をとらえることに課題がある。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○家庭学習時間は比較的確保することができている。 ○学習で学んだことを他の教科や生活に生かすことができている。 ●計画を立てて学習をすることができている割には、学習効果が低い。 ●学習時間はある程度確保しているようであるが、辞書を引いたり、図書館を活用したりなどと、学習効果を助長させるアイテムを活用しようとしていない。	○話し合う活動で自分の考えを深めている。 ○教員に認められていると感じている割合が高い。 ●テレビゲームやSNS、動画視聴などに費やす時間が県平均より10～15%程度高い。 ●成績が下位層の生徒は、時間を決めて起きることや家族と一緒に朝食に対する肯定的回答が少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 1年生 46 名 2年生 42 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)